

テレビ番組のスタッフや出演者が、自ら制作した番組を振り返る人気公開セミナー「名作の舞台裏」第48回は、一昨年暮れ、88歳で急逝した脚本家・早坂暁の最後の作品『花へんろ 特別編 春子の人形』脚本家・早坂暁がうつくしむ人（NHK BSプレミアム）を取り上げます。

花へんろ 特別編

春子の人形



2019年11月16日(土)

13時30分～16時40分(13時開場) ※番組上映のあと、ゲストによるトーク

会場 情文ホール 横浜情報文化センター6階

ゲスト 坂東龍汰(出演) 芦田愛菜(出演)
富川元文(脚本) 平山武之(演出)

司会 渡辺紘史(放送人の会)

主催：(一社)放送人の会、(公財)放送番組センター

入場無料

【抽選で200名】

応募方法

往復はがきに、①催事名(「花へんろ」)②住所③氏名④年齢⑤職業⑥希望人数(3名様まで)を記入し、11月2日(土/必着)までに、放送ライブラリー「名作の舞台裏」係宛郵送。放送ライブラリーのホームページからも、お申込み頂けます。

申し込み・問合せ先



放送ライブラリー

〒231-0021 横浜市中区日本大通 11 番地 横浜情報文化センター内
TEL 045-222-2828 <http://www.bpcj.or.jp/>

番組概要

脚本家・早坂暁が、少年時代の体験をもとに、亡き妹への思いと平和の尊さをテーマに創作した最後の作品。昭和の名作ドラマ『花へんろ 風の昭和日記』シリーズの世界を、新たな設定で描いた。／昭和初期の四国・松山。お遍路道に沿った商家の軒下に、人形と一緒に置き去りにされていた赤ん坊は春子と名づけられ、良介の3歳違いの妹として仲睦まじく育てられた。やがて戦争が始まり、16歳の良介は、海軍兵学校に合格して瀬戸内の海を渡った。母親・静子に「良介とは本当の兄妹ではない」と伝えられた春子は、兄に会うために広島へ向かった…。(2018年8月4日放送/NHK BSプレミアム)

※「花へんろ 風の昭和日記」／3部作の連続ドラマとして「ドラマ人間模様」(NHK総合)で、1985、86、88年(昭和60、61、63年)に放送され、その後、続編となる「新・花へんろ」が「水曜シリーズドラマ」(NHK総合)にて1997年(平成9年)に放送された。<放送ライブラリーでは3部作の第1作(第1話～7話・最終話)、第2作(第1話)、第3作(第1話)を公開しています。>

※ご提供いただいた個人情報は、本催事の抽選の結果をお知らせする目的のみに使用します。
※未就学児の入場はお断りさせていただきます。

放送ライブラリーは、みなとみらい線「日本大通り」駅、真上です。

